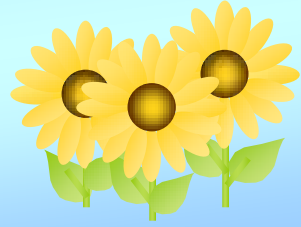


仁保のかわゲラ (日野川新聞) 夏号



発行 東近江土木事務所河川砂防課

発行日 平成21年7月27日 No.22

仁保橋の開通式が行われました！

5月10日(土) さわやかな晴天のもと華やかな花火の幕開けとともに、小南自治会・十王町自治会のみなさんにより、仁保橋の開通式がとりおこなわれました。

最初に仁保橋の幾久しい安全を祈願し、自治会役員のみなさんをはじめ、参列者の玉串奉奠(たまぐしほうてん)などの神事が行われました。

つづく仁保橋開通式典では工事の経過説明を行い、これまでお世話になったみなさんからお祝いの言葉をいただきました。

そして、花火を合図に両岸でテープカットが行われ、小南側からは三世代夫婦を、十王町側からはブルースカイバンドさんによるマーチングバンド行進を先頭に、ご参加いただいたみなさんに仁保橋の開通を祝って渡り初めをしていただきました。渡り初めのあいだ野洲吹奏楽団さんによるプラスバンド演奏が行われ、大いに盛り上げていただきました。



親子三代の渡り初め



安全祈願式



北里学区鼓笛隊のみなさん



野洲吹奏楽団のみなさん

小南、十王町両自治会のみなさん、立派な式典を開催していただき、本当にありがとうございました。

また、5月14日には新しい仁保橋の一般通行が始まりました。今後も旧橋の撤去や橋前後の道路工事、日野川の河川工事がしばらく続きますので、ご迷惑をおかけいたしますが引き続きご協力お願いいたします。

初夏の日野川と環境にやさしい工事ウォッチング

7月6日(月) 岡山小学校4年1組のみなさんが日野川の工事現場を見学しに来てくれました。

小学校で日野川の河川工事について説明を聞いてもらったあと、日野川の工事現場へ向かいました。NPO 法人CESAの今村さんを講師に迎え、日野川の自然やリサイクルについて勉強しました。一般廃棄物の焼却灰を冷やして固めた溶融スラグとよばれるものを使ったブロックが日野川の高水護岸に使われています。実際に使われているブロックを見て「へえ～ごみも使えるんやなあ」という感想が聞こえてきました。また、日野川の周辺にはえている植物の観察をしたり、新しい仁保橋と旧の仁保橋を見比べて川幅が広がったのを実感してくれました。日野川に来たことで、少しでも川の工事を身近に感じてくれたらうれしいです。見学に来てくださった岡山小学校のみなさん、この日のためにいろいろと準備をしてくださったCESA、現場のみなさんどうもありがとうございました。



こんな植物があるよ



みんな集合！



再生碎石ってなに？

琵琶湖岸の砂浜を再生します！

琵琶湖岸の砂浜の砂が波で流されてしまう「浜欠け」現象が、近江八幡市の日野川河口で進んでいます。右の写真は日野川河口の上空写真です。経年変化をみると、平成3年前後で河口域を中心に後退しているのがわかります。侵食により汀線（海面と陸地が交わる線）が後退することにより、河口付近に繁茂しているヤナギなどの樹木が倒木の危険にさらされています。

このような琵琶湖岸の浸食を防ぐため、今年度「突堤工事」を行います。突堤は栗石入りのネット状の袋を並べたもので、湖岸を風や波から守り、砂の流出を防ぎます。今年度は平成19年度に施工した突堤を、施工後のモニタリング調査および学識者からのアドバイスを受け、沖合に延伸する予定です。

このような湖岸保全工事は、滋賀県だけでなく、湖岸堤を管理している水資源機構でも行っています。滋賀県では今後、関係機関と連携しながら、学識者からの意見を聞き、効果的な対策を進めていく予定です。



日野川河口汀線の変化

日野川を彩る

～ヴォーリス建築を訪ねて～

ウィリアム・メレル・ヴォーリスという名前を聞いたことはあるでしょうか。ヴォーリスはアメリカに生まれ、明治38年に日本へやってきました。ヴォーリスは、近江八幡を「日本の中心であり、世界の中心である」と言っ

て愛し、近江八幡の教育・文化・医療分野において多くの功績を残し、近江八幡市の名誉市民第1号に選ばれています。多岐に渡って活躍したヴォーリスは建築家としての才能も発揮し、日本全国に多くの作品を残しています。今回は、ヴォーリスの作品の一つである旧八幡郵便局を紹介します。近江八幡市仲屋町中にあるこの建物は、大正10年頃に郵便局として改築され、現在も大切に保存されています。現在は「NPO 法人ヴォーリス建築保存再生運動 一粒の会」が管理されていますが建物の中も見学できますので、一度訪れてみてはいかがでしょうか。



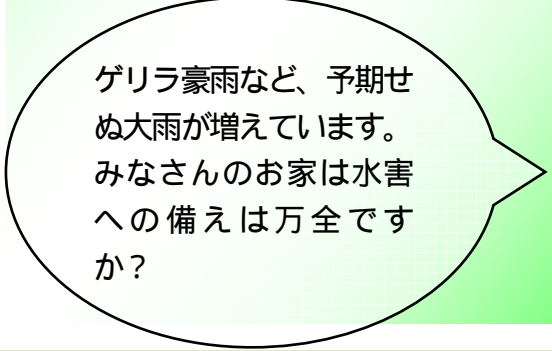
モダンな外観の
素敵な建物
旧八幡郵便局

カワセミのさえずり

気象警報発表単位が変わります

平成22年度出水期から、気象に関する警報・注意報の発表単位が市町単位に変更されます。現行では滋賀県は「近江南部、近江西部、甲賀、東近江、湖東、湖北」の6区域を発表単位としていますが、発表単位が市町ごとに変更されることで、ピンポイントで気象情報を得られるため、防災対応が取りやすくなるなどのメリットがあります。

台風シーズンを迎え、気象警報の発令が多くなるこの時期、災害に関する情報収集を行い、水害に備えてください。



東近江土木事務所 河川砂防課 河川担当

〒527-8511 滋賀県東近江市八日市緑町7-23

0748-22-7746 (直通) Fax 0748-23-4163 E-mail:ha33400@pref.shiga.lg.jp